

メイトルの つぶやき

No.26



『スリッパ現象』

みなさん、こんにちは！

やっと春が来ましたね。私は3月中旬から春の便りを探し始めました。少しずつ暖かくなり、あちこちで草花が芽吹いてきました。そして、3月の終わりから美しい桜の開花が始まりました。「わー！素敵な光景です！」とてもわくわくします。私は八百津の春は、本当に美しく素晴らしいと思います。

私は「JET プログラム」という事業に参加しています。このJET プログラム「語学指導等行う外国招致事業」に参加している国際交流員にはホームページがあります。

(<http://www.jetprogramme.org/j/aspiring/positions.html>)

そのホームページには、さまざまなカテゴリーがあります。例えば、国際交流員の仕事について質問があれば、他の国際交流員と相談することができます。そして、そのホームページを通じてメンバーは個人的な経験や意見・考えを共有できます。今回のコラムではそこで見たおもしろい記事についてお話したいと思います。課題は「外国人を驚かせる日本の習慣（トップ10）」というものです。著者によると日本の習慣の中には、初めて来た外国人をビックリさせるものが多いそうです。私はその「トップ10」の中の一つをご紹介します。



これは靴を脱ぐ（スリッパ現象）です。公共の場で靴を脱ぐことは、外国人を驚かせます。公共のトイレや試着室、どこへ行っ

ても靴を脱ぐのは、日本は当たり前のことですが、西洋人にはビックリものです。靴を脱ぐことばかりでなく、家でスリッパに履き替えるのも外国人には不思議なことです。家でスリッパをはくということは外国の方にもごく当たり前のことかもしれませんが、ベランダやトイレに専用のスリッパがあるのが驚きです。その記事の著者はこの習慣についておもしろいことを書いていました。

「例えば、ベランダで洗濯をしていると仮定しましょう、トイレに行きたくなったらあなたは、ベランダのスリッパを脱いで畳みの部屋を走って横切って、普通のスリッパをはき、トイレまで走って行って、そのスリッパを脱いでトイレのスリッパをはく。そして、ベランダに戻るために、同じプロセスをもう一度繰り返さないといけないでしょう。つまり、あなたは靴を6回履き替えたのに、1回も外に出かけませんでした」という例でした。

著者の結論もおもしろくて文化交流について関係があると思います。

海外を旅行する時、他の国の習慣や文化の中には、驚かされるものが必ずあります。驚かされてもその国の習慣がおかしいというわけではないのです。日本に初めて来た外国人が日本の習慣から何かを学び、それが、彼ら自身の文化と比較することで文化についてじっくり考えるチャンスとなります。そして、自国の文化に日本の習慣のいくつかを取り入れることができます。日本人も海外旅行をする時、あるいは日本で外国人の友だちを作る時、違う習慣や文化におもしろく驚かされるものを見つけたら、その習慣のいくつかを自分の習慣に取り入れることができます。そうすることで、外国人も日本人もお互いに学び、「国際化」とは何かを深く理解できると思います。

メイトルさんへの質問は
meital@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！